

# 凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第23号 2023. 11. 10(金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続  
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』  
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

## 生徒指導(11月)の目標は、「心を傾けて聴く」～聴く力=傾聴力～

- ① 顔を上げて相手を見て
- ② 話の最初から最後まで
- ③ 相手の話に共感しよう

【1年生が身を乗り出して会長の話を聴いていました】



「夢実現・自己実現」に向けて学校で学ぶこと(＝伸ばす力)の一つとして、コミュニケーション能力があります。さまざまな場面で必要となる能力です。高校受験における「面接」の練習だけではなく、学生生活・友人関係においてもコミュニケーションがうまく取れず、悩んでいる人も少なくないかもしれません。コミュニケーション能力が高い≠話し上手と考えがちですが、人との意思疎通で話し方以上に大切なことは、二相手の話に注意深く耳を傾ける「傾聴力」というスキルです。多くのことを話さなくても、スムーズにコミュニケーションが取れ、相手の信頼を得ることにつながります。みなさんが、将来、社会人として仕事をしていくうえでも欠かせないスキルです。この機会に是非とも傾聴力を高めていきましょう。

## 理想の自分へ～鳥は「空気が」、魚は「水が」、人間は「〇〇」が見えない～

【今日の課題】「〇〇」には何が入るのか考えてみよう！〔中国の格言より〕

以前、ソフトテニスの指導の場面で先輩の先生が話されていたことを、「夢実現・自己実現」を目指して毎日がんばる「一中生」バージョンにアレンジしてみました。

まず「〇〇」の正解は「自分」です。人間は他人のことは見えても、自分が見えにくい状態で過ごしています。自分のことはあまりにも当たり前すぎて、意外と分かっていないことも多いものです。自分を基準とした考えから独断と偏見で判断してしまうので、自分だけが納得できる答えを出してしまいがちです。結果として改善すべき点を間違えるか、そもそもの原因が分からないままなので、同じ状況で間違いを繰り返してしまいます。その対策として、客観的思考法をお勧めします。例えば雨の日の昼休みに、教室でにぎやかに過ごしている自分たちの様子を思い浮かべてください。そして、その姿を自分がギャラリーから見ているという想定で想像してみてください。「危ない」、「うるさい」、「静かにしてほしいのに迷惑だ」などの感情が出てくれば安心です。それをより良い姿と捉え直すことで、理想の自分へ変わるチャンスが生まれるからです。

私は、昨年までクラスの生徒が教室にいない時間帯に一人で教室に行き、生徒の椅子に座って、黒板を見ながらいろいろなことを考えていました。これが、客観的思考法です。私達は、試行錯誤を繰り返すことで、新しいスキルや技術を身につけていきます。自分の姿だけでなく、周りの誰かの気持ちを感じ取れるかもしれません。